

今月号のトピック

- 変化の絵を描く
- 2005年3月、4月のコース日程
- 英コンピータ、新たなアセスサツツールで2ヶ所のアセスメントを行う

変化の絵を描く

By Cyril Dyer



2004年10月号の中で私は「**コミットメント**」について、また「**なぜ**」プロセス改善を行うのかを相手に伝える必要性についてお話しました。今回も「**なぜ**」にこだわって考えてみたいと思います。「**なぜ**」変化が必要なのか、その理由を伝える方法を知ることが、コミットメントを得る鍵のひとつだからです。

「どうしたら上級管理層から変革を行うための**コミットメント**（または**賛同**と言うこともあります）を得られるでしょうか？」という質問を頻繁にいただきます。プロセス改善プログラムを行うということはつまり、組織の作業方法を変えるということです。ですからもちろん、本当に成功を納めたいのであれば、プロセス改善プログラムでは**賛同を得る**ことが必要なのです。

まずは変化に関わる人々から始めてみましょう。誰から**賛同を得る**必要があるでしょうか？上司だけでよいですか？上級管理層は会社の財布の紐を握り、戦略方針の舵を取っていますが、皆に変化に対する**コミットメント**をさせるのは、他にもないあなたなのです。皆に「賛成だよ。素晴らしいアイデアじゃないか。ぜひやってみよう！」と言わしめるのは、もちろん簡単な事ではありません。それどころか、最も困難であることが多いのです。

では、どうしたらよいのでしょうか？皆にまず必要なのは、共通のゴールに対するビジョン、つまり誰もが理解できる**絵**を共有することです。一人一人がその絵のどこに当てはまるのかを理解し、その絵に何が描かれているのかを視覚化する必要があります。そしてその絵を組織内の全員に「**売込**」のです。

最初の「**売り先**」は上級管理層です。彼らにゴールを信頼してもらうのは最も大切なことのひとつです。上級管理層が賛成することも反対することもあるでしょう。どっちつかずの態度をとっている人たちは残念ながら、おそらくそのゴールに反対していると思われる。次の「**売り先**」は、その他のビジネスです。そのゴールと、ゴールによってもたらされるであろう価値を皆が理解し、信頼する必要があります。私たちがこれらの問題を扱うことができれば、必要な**コミットメント**の獲得を90%達成したといえます。

私たちが次に必要なのは、そのゴールは達成可能であるという信念を共有することです。そのためにはしっかりとしたプロセス改善計画、またはロードマップが必要です。他の人にいつ、何をしよう頼めばよいのでしょうか？一人一人が計画と、成功するためにどのように貢献できるのかを理解する必要があります。計画を作成するためには、何がいつ必要なのか、**伝え、伝え、伝える**必要があります。

皆が信頼できる**絵**を描くことができれば、その**絵**をもとに**現実に即した計画**をたて、それを皆に伝え、**成功の機会がある度にあなたがプログラムを提供してきたということ**を理解してもらうのです。

代表取締役 シリル・ダイヤー

2005年3月、4月のコース日程

CMMI コース

アセスサコース (全4日間)

3月1日(火)~3月4日(金)

CMM コース

入門コース (全3日間)

3月23日(水)~3月25日(金)

アセスサコース (全4日間)

4月11日(月)~4月14日(木)

ISO15504 コース

入門コース (1日)

4月7日(木)

アセスサコース (全3日間)

4月26日(火)~4月28日(木)

リードアセスサコース (全コース共通)

3月15日(火)~3月17日(木) (全3日間)

英コンピータ、新しいPPAアセスサツツールを用いて2ヶ所でアセスメントをおこなう

英コンピータは2004年、2ヶ所でのPPA公式 (ARC クラス A) CMMI アセスメントを抱えて忙しい年末を過ごしました。

2004年11月にリリースされたCMMIのためのPPAアセスサツツールを使用し、英国内の2ヶ所のクライアント先でそれぞれレベル3と4のアセスメントを行いました。この間に行った30以上のインタビューは全て記録されました。

「素晴らしいツールですよ」とリードアセスサであるKevin Pulfordは言います。「2つのアセスメントチームを並行して運営し、24のプロセス領域と30以上のインタビューのデータを統合できたのは、このツールのおかげです。また、アセスメントの開始から完了まで追跡し、全てのプロセス領域を満たすことができましたし、組織の成熟度レベルを正確に測定することができました。」

PPA公式 (ARC クラス A) CMMI アセスメントの完了にあたって、PPAアセスサツツールは、レベルの高い報告を時機を逃さずに作成することを可能にしたのです。

お問合せ

株式会社 コンピータジャパン
〒103-0016
東京都中央区日本橋小網町 19-7
電話 03-5649-2003
FAX 03-5649-2637
e-mail: welcome@compita-japan.com
http://www.compita-japan.com/

*全てのコースは熟練した通訳者が逐次通訳を行いますので、語学のご心配は不要です。テキストも日本語です。
**能力成熟度モデル CMM, CMMI は、カーネギーメロン大学によって、米国特許商標庁に登録されています。